

こんにちは **けんしん** です。

ごあいさつ



理事長 青木 和夫

平素は、滋賀県信用組合（けんしん）に格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

ディスクロージャー誌「けんしんの現況2024」を作成いたしましたので、ご高覧賜り、当組合に対するご理解をより一層深めていただければ幸いに存じます。

日本経済は、「景気はこのところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している」とされていますが、人手不足や原材料高、賃上げが当組合のお取引先である中小規模事業者へ与える影響は大きく、経営環境は依然として厳しいものと考えられます。

こうした中、当組合においては、地域の皆様に信頼され存在感のある金融機関を目指し、令和5年度は第4次「経営強化計画」の初年度として、地域の皆様への安定的な金融仲介機能強化と収益性向上に向け役職員が「深化」を合言葉として取組んでまいりました。

その結果、貸出金は引き続き期末残高・期中平均残高ともに前期比増加しました。他方、預金については期中平均残高は増加しましたが、地方公共団体預金の払戻し等があった影響で、期末残高は令和4年3月期と同水準となりました。金融機関の本来の実力を示すコア業務純益は335百万円、当期純利益も323百万円を確保することが出来ました。組合員皆様のご支援に感謝を申し上げ、令和6年3月期の出資配当につきましても、引き続き実施いたします。

また、令和6年度は「チャレンジ」というキーワードのもと、あらゆる面でチャレンジを実践し、組合員の皆様に寄り添いご融資や経営改善支援等により金融仲介機能を高めていく中で収益力の強化を図り、役職員一丸となって目標達成に取り組むと同時に、地域と共に成長する金融機関として金融サービスの向上に努めてまいります。

今後ともなお一層のご支援、ご愛顧を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

令和6年7月

理事長 青木 和夫